

災害等緊急時対応マニュアル  
〇〇〇〇〇クリニック

2010年〇月 作成  
2010年 月改訂(第 版)



## ●●対応マニュアル策定の基本方針

●●●クリニックでは、当クリニックの理念である「1.わたしたちは、すべての患者様を家族のように想い、心のこもった診療をいたします。2.わたしたちは、ひとりひとりが高い志を持ち、日々の向上をめざします。3.わたしたちは、地域住民の健康増進と地域医療の発展に貢献し、笑顔あふれるまちづくりの実現をめざします。」と日常診療活動の目的を記し日夜推進している。よって●●対応マニュアルの策定にあたっては、その日常診療活動が直ちに復旧・継続でき、患者さんやその家族に対する診療・サービス等を引続き行うことでその目的に寄与していくこととする。特に大規模災害などの緊急時を想定し、患者さんやその家族及び職員等の安全確保とともに、地域医療機能の回復への当クリニックの行動基準を定める。

当会において●●対応マニュアルの策定・運用する目的とともに、当協会の特性を踏まえ緊急時に事業継続を図る上で要点となり得る事項は以下のとおりである。

### 1. ●●対応マニュアル・運用の目的:

#### ①患者さんやその家族にとって

当クリニックの診療活動が速やかに復旧することにより患者さんやその家族への診療・サービスが継続される。

#### ②職員にとって

緊急時における●●●クリニックの診療継続のための手順を定めることにより、業務遂行が速やかに対応できる。

職員に対する生活保障を担保することにより、業務を安心して遂行できるようにする。

#### ③地域にとって

●●●クリニックが担う地域医療の機能の速やかな復旧に寄与する。

### 2. 緊急時に診療活動継続を図る上での要点:

#### ①近隣・連携の医療機関との助け合い

近隣の医療機関 ○○医院、○○診療所

連携の医療機関 ○○病院、○○病院

を中心に連携を取る。

#### ②窓口負担の徴収・取引業者への支払等について

#### ③地域への貢献

地域医療の確保に努めていく。

#### ④公的支援制度の活用

行政と協力し医薬品の供給確保に努める。

### 3. ●●対応マニュアルの更新時期:毎年●月(年1回更新)



## 災害時の行動対応について

災害発生

第一に自分の身を守る

緊急地震警報器が作動！  
〇〇〇〇具体的場所に移動！  
間に合わな場合は、机の下などに  
入り身の安全の確保を！

初めのカタカタの揺れの時にドアを開けて避難通路の確保をしておく。  
人がいなければ緊急の対応も事後処理もできなくなる。第一に自分の身を守ることに徹底する。

### ◎地震の場合、本震がおさまり次第、患者さんと付添者、職員等の安否確認を行う

建物・周辺被害状況を勘案しクリニック使用について判断

- 建物・クリニックの破損状況を確認する
- クリニックの使用ができなくなった場合、一時避難所に全員を誘導する

・救護・消火・避難誘導・情報収集にあたる

(活動に当たり常に自分の身を守ることを忘れない。ヘルメット・手袋など着用し余震などにより天井等が落下した際のケガに備える)

- 救護 けが人の把握と応急処置、場合により救急車等の手配・病院搬送
- 消火 火災の有無を確認・対応
- 避難 患者さん等の避難誘導を行う
- 情報 テレビ・ラジオなどにより災害の状況、交通網の稼働状況を把握
- 安否 外出中の職員、家族の安否を確認
- 物品 非常時持出品を分配する

・二次災害の防止対応 → チェックリストで確認し対応策を考える

・災害状況・交通網の稼働状況の情報を確認し待機か帰宅開始かを判断する

→ 帰宅を開始する場合、帰宅者は帰宅経路を報告し帰宅後必ず報告を行う

・残留命令の出たものは、非常時持出品から身支度の用意を行う

※72時間(3日間)は、救急・救助、消火、緊急搬送活動等の応急活動を優先するため、帰宅者による交通渋滞をなくすため帰宅を自粛するよう求められる場合がある。



### 被災●日目～

#### ◎クリニック再開に向けての応急対応

- ・職員の安否確認、被害状況の把握
- ・診療業務継続のための医療機器破損状況、OA機器、データの確認、関係会社との連絡など
- ・在宅訪問診療を行っている患者さんの安否確認 福祉避難所への移送手配

### 被災●日目を目途に

#### ◎被害への応急対応が終了次第、診療業務の再開へ

- ・できる範囲からの再開か？
  - 対応の協議 まず水の確保ができてからか？消毒

## 勤務中の対応マニュアル(クリニック内)

**地震発生時の対応** → 緊急地震警報器が作動。避難経路確保のためドアを開ける。

### ① 自分の身を守る

- ・「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」場所に身を寄せる
  - できれば〇〇〇〇に移動する
  - 無理な場合、慌てず机の下などに身を伏せる



### ② 安否の確認・情報収集

- ・お互いに声を出し合って安否の確認を行う
- ・職員の安否を確認し、人員を把握する
- ・患者さんの安否確認を行う
- ・出張者、休暇中の職員には極力連絡をとり、安否確認をする
- ・必要な情報を得るためテレビ、ラジオなどをつけてクリニック内に伝達する

### ③ 救護活動

- ・閉じ込められたり、器物の下敷になっている人がいる場合は、居合わせた者が協力して救出活動を行う
- ・けが人が出た場合は、直ちに応急手当をする
- ・重傷者については病院の手配など必要な手段を講じる

### ④ 避難誘導を行う場合

- ・本震後に落ち着いてからまずは、「建物・設備 安全点検チェックリスト」でチェック
  - 建物の継続使用についての判定を行う

### 建物から避難誘導を行う場合

- ・建物から退去となり避難の必要が生じた場合、避難所となっている「●●小学校」に避難する
- ・その後、広域避難所となっている「●●」に移動する場合は人員を確認し一斉に移動する
- ・患者さんや来院者は不慣れであるので職員が先頭・中間・最後に付き誘導を行う
- ・避難の際には、エレベーターは使用せず●●ビル西側奥の非常階段より一階に向かい、●●に出て誘導する
- ・停電している場合、断線したコードより出火を防止するため●●にあるブレーカーを切る

→ 非常時持出品を搬出する

非常持出品



### 建物継続使用の場合「二次災害防止」を行う

- ・落下しやすい物品は床に置くなどする
- ・書類は机、保管庫に収納する
- ・機密文書は金庫に入れ鍵をかけて保管する
- ・電話器は輪ゴム、テープなどで受話器と本体を一体にして床に置く
- ・窓際の物品は除去する
- ・火災防止のため、コンセントを抜く

## 余震と誘発地震の発生に備える

- 大きな地震が発生すると必ずそのあとにたくさんの余震が発生する。  
一般的に本震のマグニチュードより「1」程度小さいものを最大余震として発生することが考えられる。
- 誘発地震は、どこで起こるかわからない。

余震・誘発地震活動は一般的に本震のマグニチュードが大きいほどその活動期間も長くなるといわれている。

### 余震・誘発地震発生後は再度「建物・設備 安全点検チェックリスト」でチェックし判定を行う

#### ⑤ 帰宅準備の開始

- ・交通状況を把握し、クリニック内に伝達する
- ・状況次第でクリニックに残留指令を出す
- ・帰宅者は帰宅経路を報告し、自宅に到着次第、クリニックに報告
- ・備蓄食糧、照明器具、通信機材などを分配する
- ・最終退出者はすべての施錠を確認する

#### ⑥ 帰宅後の対応

- ・被災状況、交通手段など各自判断のうえ出勤可能となった場合、出勤する
- ・出勤できない場合、クリニックあるいは緊急連絡先に被災状況、所在地、連絡方法などを連絡する

## 火災発生時の対応

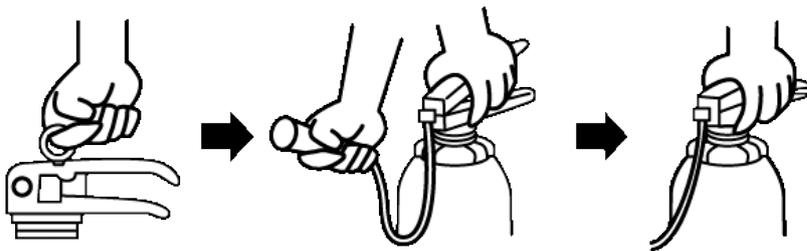
### ① 出火を発見した場合

- ・大声で連呼し、付近の人に出火した箇所等を知らせる

### ② 極力、自衛消火に努める

- ・消火器は●●に各1台

- ①ピンを抜く      ②ホースを火元へ向ける      ③レバーを強く握る      (放射時間15秒間)



- ・消火に失敗した場合は、消防へ連絡し、出入口の扉等を閉める

### ③ 避難する(来院患者数の把握)

- ・患者さんや来院者は特に不慣れであるので職員が先頭・中間・最後に付き誘導を行う
- ・エレベーターには絶対にのらない、階段等を優先使用する
- ・ハンカチ等で口鼻を覆い低い姿勢を保ち慌てず歩く
- ・クリニック外に避難したあと●●に集合し人数の確認を行う
- ・人数が足りない場合、消防隊にその旨を伝え決してビル内に戻らない



## 勤務中の対応マニュアル(通勤途上・出張中)

### ① 可能な限りクリニックへ連絡

可能な限りクリニックに連絡を入れる。現在の位置、状況、帰宅可能な場合は帰宅経路・手段などを知らせること。帰宅ができない場合、どこに身を寄せられるかなど報告すること。

家族とも連絡を取り、クリニックにも家族との連絡が取れているか、家族の安否について知らせること。

### ② その場より帰宅が原則

主張中などにより自宅から遠方となった場合、一時滞在施設や一時避難所等に身を寄せて災害の状況、交通機関の運行状況等、情報の収集に努める。

※関西地域では関西広域機構で災害時帰宅支援ステーション(徒歩帰宅者の支援)がある。



コンビニ・ガソリンスタンドなどにステッカーの掲出している店舗など  
支援事項)水道水・トイレ・帰宅支援情報・休憩場所の提供など

※関東の首都圏地域においては、災害時帰宅支援ステーションの他に

- 一時滞在施設(帰宅困難者等の受け入れ) → 発災から72時間＝最大3日間＝程度
- 例示)集会場、庁舎、オフィスビルのエントランスホール、ホテルの宴会場、学校など
- 支援事項)食料・水・毛布またはブランケット・トイレ・休憩場所・情報など

### ③ 帰宅後、被災状況などを連絡

- ・家屋の状況
- ・家族の安否状況

## 他府県への出張中で特に注意すべきこと

地域によっては液状化による通行の遮断やマヒが起こり避難が思うようにできなくなる可能性がある。さらに海岸地域は津波が押し寄せてくることも念頭に置き、冷静に行動すること。

### 液状化危険度が極めて高い地域

#### 名古屋市

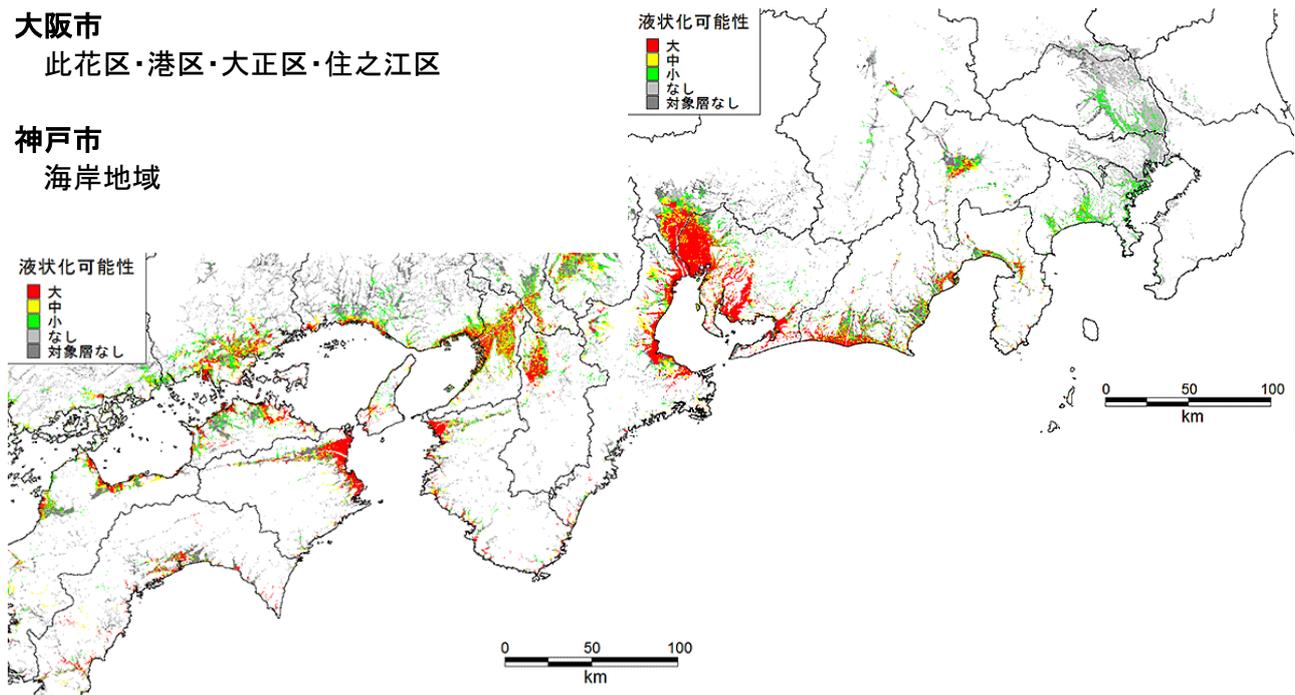
西区(名古屋駅桜通口 北側 名古屋城の西側)  
中村区(名古屋駅太閤通口 西側)  
中川区(名古屋駅広小路口 南側)  
港区(中川区南側 名古屋港)

#### 大阪市

此花区・港区・大正区・住之江区

#### 神戸市

海岸地域



### 南海トラフ地震の被害想定

東京・名古屋・大阪・神戸について南海トラフ地震での被害想定については下記の通りである。参考にし、決して慌てず落ち着いて行動し、海側への移動については決して行うべきではないので厳重に注意すること。

特に名古屋・大阪・神戸については液状化危険度が極めて高い地域のうえ、津波についても注意が必要である。地下街で地震にあった場合、津波の到達には比較的時間の猶予があるので落ち着いて地上を目指して避難すること。

	最大震度	津波高	津波(1m)到達最短時間	
東京都中央区	5強	3m	186分	東京駅八重洲側
名古屋市港区	7	5m	102分	名古屋駅南側 名古屋港
大阪市港・大正区	6弱	4m	120分	大阪協会 浪速区西側の区
神戸市中央区	6弱	4m	91分	兵庫協会所在地

## 自動車運転中の対応マニュアル

### 走行中に地震を感じたら・・・

決して

**急ブレーキをかけない → ゆっくり減速**

- ・ハザードランプを点灯し周囲に注意喚起
- ・ゆっくり減速で後続車の追突防止、急ハンドルをさける

あわてず

**左側路肩に停車 → エンジンを止める**

- ・長大のり面の下、トンネル出入口付近は崩落の危険あり、極力さけて停車
- ・ハザードランプは点灯したまま、停止表示板を見えやすい位置に置く
- ・前後の車の間隔をとり余震などの予防処置をとる
- ・ラジオなどで状況を確認し慎重に行動する
- 沿岸部は津波の可能性があり、津波の高さ・到達時間などの情報収集が必要



※ 止むを得ず車を離れるとき

**ドアロックはしない → エンジンキーはつけたまま**

- ・救助活動等で支障をきたす場合、車を移動させることがあるためロックせず、キーはつけたまま
- 車内に連絡先を記したメモを残しておく
- ・エンジンを切り、窓ガラスはしっかり閉め、車検証・貴重品は残さない

**高速道路は・・・ 計測震度4.5(震度5弱に相当)以上で通行止めになる**

#### 非常電話について

- ※ 非常電話は1キロ毎に設置 → 受話器をあげるだけで道路管理センターにつながる
- ※ 非常電話が通じないときは、[道路緊急ダイヤル\(#9910\)](#)を使用する

#### 災害対策基本法による交通規制が行われたとき

災害対策基本法により、緊急の必要があるときは、緊急通行車両以外の一般車両の通行が禁止又は制限される。

##### ○速やかに車を移動

区域ならびに道路の区間を指定して交通の規制が行われたとき、規制が行われている区域ならびに道路の区間以外の場所へ移動させる

##### ○速やかな移動が困難なときは、道路左側に沿って駐車

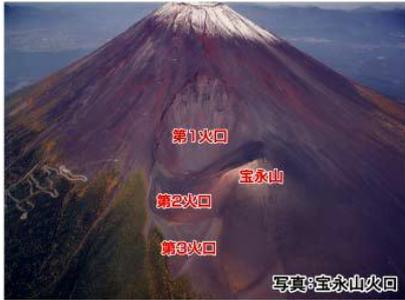
速やかな移動が困難なときは、車をできるだけ道路の左端に沿って駐車するなど、緊急通行車両の妨害とならない方法により駐車する

##### ○警察官の指示に従う

警察官の指示を受けたときは、その指示に従い車を移動又は駐車する



# 富士山噴火



2011年の東日本大震災の影響で富士山が噴火しなかったのはたまたまで、もしマグマの準備ができていたら噴火してもおかしくはない状況であった。そのため大震災の前より噴火の可能性が高まっていることが指摘されている。

大規模な噴火の場合、降灰による交通機関への影響は大きく、身体への影響にも注意が必要

## ① 交通機関への影響

降灰が0.5cmの積量から、自動車の運転が困難になるなど交通機関に影響が表れ始める。

- ◎道路 通行不能（東京・神奈川・千葉・茨城・静岡の範囲）
- ◎鉄道 車輪やレールの導電不良など  
（東京・神奈川・千葉・静岡等の範囲）
- ◎航空 大気中の火山灰で運行不能（羽田・成田等の6空港）



## ② 身体への影響

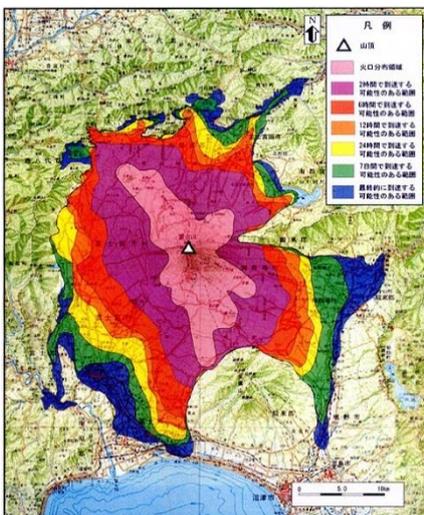
降灰が2cmの積量から、目・鼻・のどなどの異常を訴える人が多くなる。

◎できるだけ外出は控えるべきであるが、外出時にはマスクやゴーグルなどの着用を行う。

## ③ 避難する場合の注意事項

- ・気象庁が発表する火山情報に注意する。
- ・灰を吸い込まないようにマスクやゴーグルを着用する。
- ・小石が降ってくることがあるので頭を守る。
- ・くぼ地には有毒ガスが溜まりやすいので近づかない。

## 溶岩流の到達時間予測



## 竜巻の発生

竜巻の発生が予想される場合、気象庁から「竜巻注意情報」が発表される。

### ①「竜巻注意情報」が発表された場合には

「竜巻注意情報」は県単位で発表されるが、実際に竜巻に対する注意が必要なのは積乱雲の近くにいる人だけである。「竜巻注意情報」が発表されたからといってすぐに避難が必要となるわけではない。

「竜巻注意情報」が発表されたら、まず空を見る。周りの天気が次のように変わってきている場合には積乱雲が近づいているので、頑丈な建物に移動するなどの安全確保が必要である。

### 注意

- 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- 雷鳴が聞こえたり、雷が見えたりする。
- ひやとした冷たい風が吹き出す。
- 大粒の雨やひょうが降り出す。



人が大勢集まる屋外行事のように、避難に時間がかかると予想される場合には、気象情報や雷注意報にも留意し早めの避難開始を心がける。

### ②「竜巻」が間近に迫ったら、すぐに身を守るための行動をする

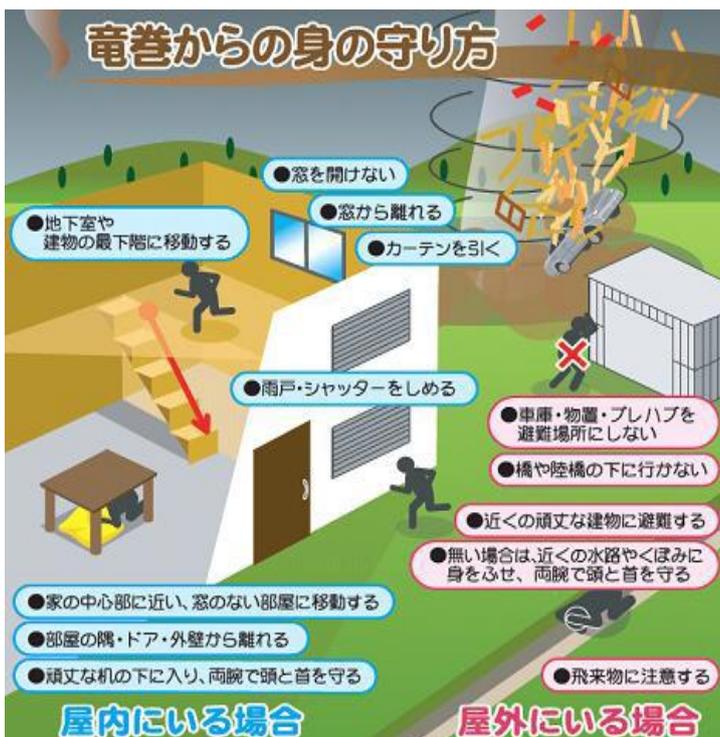
竜巻の恐ろしさは、巻き上げられた瓦(かわら)や看板などが猛スピードで飛んでくることで、こうした飛散物に当たると、命を落としたり重軽傷を負ったりする。

### 屋内では

- 1階の窓のない部屋に移動し、窓やカーテンを閉める。
- 丈夫な机やテーブルの下に入るなど、身を小さくして頭を守る。



ガラス窓の下や周囲



### 屋外では

- 丈夫な構造物の物陰に入り窓ガラスから遠く離れ身を小さくする。
- 周辺に身を守る建物がない場合、水路などくぼんだところに身を伏せ両腕で頭や首を守る。



物置や車庫・プレハブ(仮設建築物)の中  
電柱や太い樹木であっても倒壊することがある

## 休暇中の対応マニュアル

### ① 自宅で待機し安全確保に努める

### ② クリニックに被害状況などを連絡する

自宅に甚大な損傷を受けて避難所に一時避難するとき、また親戚・知人を頼り自宅を離れるときは、避難先を伝える。

### ③ 指示を待つ

◎震度●以上の地震が発生した場合に、院長・事務長は、身の回り・家族の安全を確保したうえで、ただちに協会事務所に集合する

## 普段からの心掛け・備えについて

ひとりひとりが自己責任で  
命を守る意識を持つことが大切

そのための **行動**

防災対策は掛け捨て保険に似ている  
日本に住む限り必要な負担である

とける瞬間から

**3つの行動**

**家を強くする**

**家具を固定する**

**地震が来たら瞬時に  
安全な場所を判断する**

**3つ**

**判断のポイント**

**①落ちてこない ②倒れてこない ③移動してこない**

※職場や自分の部屋など、よく身を置く場所ではあらかじめ安全な場所を確保する。  
※はじめて訪れた場所では、周囲を見回す癖をつけると良い。

大きな地震も最初はカタカタと小さな揺れで始まり、その直後に **ドシ** とくる。  
わずかな揺れを感じた段階で、瞬時に安全な場所へ身を寄せる習慣が、大きな揺れが  
来たその一回の命を救う。

## 地震発生時の注意事項

**在宅中に発生した場合**

- ・棚などを押さえようとせずに離れてケガを防ぐ。
- ・出火の場合、近所から消火が無理なほどであれば自宅を捨てて避難する。

**就寝中に発生した場合（枕元近くにスニーカーと懐中電灯）**

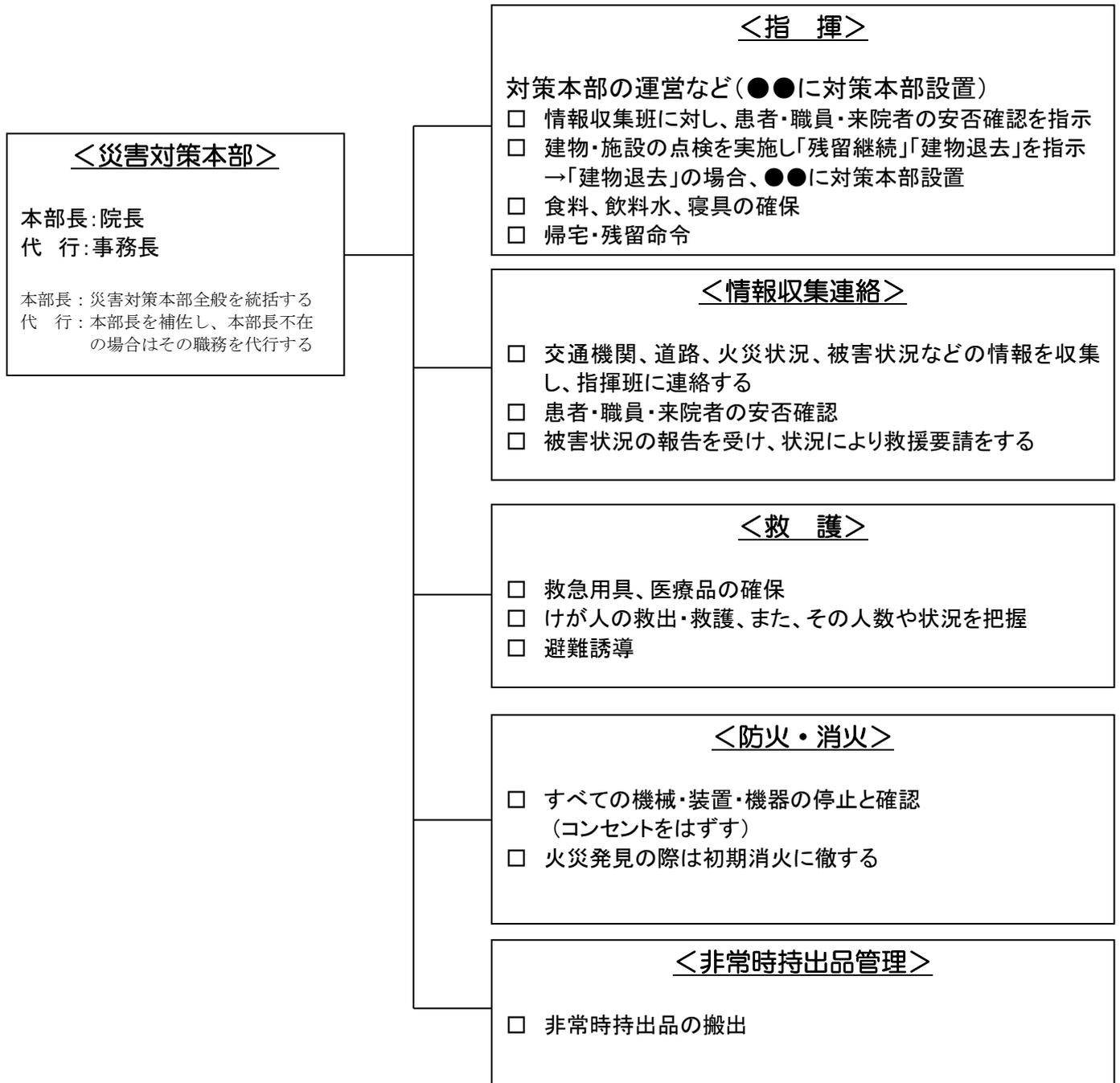
- ・まずは大きな声で他の部屋にいる家族と無事を確認しあう。  
（停電で真っ暗な中、慌てて動くと床に散らばったガラスの破片などでケガをする。）
- ・その後、スニーカーを履き落ち着いて移動し集まる。

**避難場所は決めておく**

- ・遠くへ避難する場合に備え、親類などに受け入れを頼むことも重要。誰かが外出中で離ればなれになっても生きていれば必ず会えるという安心感につながる。

# 災害等対策本部設置マニュアル

## 院長が本部長として災害対策本部の設置を発令する



※残留を命じられた職員を中心に●●に「対策本部」を設置し担当者を配置

※万が一、クリニックが甚大な被害を受け、対策本部として機能しない場合は、被害が少ないと予想される●●を仮の本部とする。

※職員が少数となる夜間診療時間帯などの際には、職員が共同して患者さん・来院者の避難・誘導にあたる。

## 避難計画シート〈屋外避難用〉

●●市防災マップによると、京都市に被害をもたらすと想定される地震の中でも最も大きな被害をもたらすのは「花折断層地震」と想定されている。クリニック所在地の●●区はこの花折断層地震が発生すると震度●強が予測されているが、●●区の中でもクリニック所在地の●●町は「震度●」の予測範囲にありビル倒壊の危険性もある。本震でビル倒壊を免れたとしても本震後の余震によりビルが傾くことも考えられる。そのためビルの使用が不可能となることも十分に考えられることから、まずは第一の避難場所の確保が重要である。

一時避難所として下記の①②に避難し、必要に応じて広域避難所③に避難する。  
患者さん・来院者など多数の場合は、直接「広域避難所③●●」に避難誘導する。

### クリニック近くの避難所としては●カ所

- ①●●中学校 Tel075-212-7490（「震度6強」予測範囲）
- ②●●小学校 Tel075-212-8784（「震度6強」予測範囲）

### 広域避難場所は●カ所

- ③●京都御苑（「震度6強」予測範囲）
- ④●二条城（「震度6強」予測範囲）

### 病 院

- ①●●病院 Tel075-241-7167（「震度7」予測範囲）
- ②●●病院 Tel075-801-3281（「震度6強」予測範囲）
- ③●●病院 Tel075-221-7431（「震度6強」予測範囲）
- ④●●病院 Tel075-222-1361（「震度6強」予測範囲）



## ●●御苑・●●条城（広域避難場所）への避難計画

### 午前診療時間帯（患者さん・来院者多数の時）

集合場所	●●御苑・●●条城へ直接移動
集合場所責任者 （代理責任者）	〇〇事務長、〇〇
上記責任者の責務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 机の下に身を隠すなど冷静・迅速な行動の呼びかけ</li> <li>・ 非常階段を使用し、避難場所へ誘導</li> </ul> 注意)誘導時ビルからコンクリート・ガラス破片の落下物などに注意すること。 また、道路の陥没等があった場合、近寄らず一筋外れて誘導することも考えること。

### 午後・夜間診療時間帯（患者さん・来院者少数の時）

集合場所	●●クリニック前 → ●●小学校
集合場所責任者 （代理責任者）	〇〇事務長、〇〇
上記責任者の責務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 机の下に身を隠すなど冷静・迅速な行動の呼びかけ</li> <li>・ 非常階段を使用し、集合場所のクリニック前へ誘導し人数確認</li> </ul> 注意)誘導時ビルからコンクリート・ガラス破片の落下物などに注意すること。 また、道路の陥没等があった場合、近寄らず一筋外れて誘導することも考えること。



【広域避難所・集合場所案内図】



## 復旧・代替拠点の選定

地震災害の際、本震後に落ち着いてからまずは、「建物・設備 安全点検チェックリスト」でチェックし、建物の継続使用についての判定を行う。

### 判定により「建物から退去」となった場合

非常時持出品を用意し、代替施設に移動の準備を行う。

「代替」 → クリニックビルの倒壊、立入禁止となった場合（長期間の移動あるいは移転）  
他拠点で代替 被害を受けていない・小さいところに移動・移転  
立入禁止中のパソコンなどの盗難に備える

### 判定により「継続使用可能」となった場合

復旧をめざし二次災害に備える。

「復旧」 → クリニックビルの倒壊、立入禁止がない場合  
電気・通信・水道等の使用が可能か

ただし、余震・誘発地震が発生した場合、再度「建物・設備 安全点検チェックリスト」でチェックし、建物の継続使用について再度の判定を行う。

## 建物・設備の安全点検チェックリスト

建物・周辺状況・設備等の安全点検を実施し、「建物退去」「立入禁止」「使用禁止」等の判断を行う。

点検項目		点検内容	判定	対応
<b>①建物について</b>				
1	建物(傾斜・沈下)	傾いている。沈下している。		<b>建物から退去</b>
		傾いているように感じる。		要注意→専門家の診断
2	建物(倒壊危険性)	大きなX字状のひび割れ多数。 コンクリートの剥落が著しい。 鉄筋の露出が激しい。 壁の向こう側が透けて見える。		<b>建物から退去</b>
		斜めやX字形のひび割れがある。 コンクリートの剥落はわずか。		要注意→専門家の診断
3	隣接建築物・周辺地盤	隣接建築物等が施設方向に傾いている。		<b>建物から退去</b>
		周辺地盤が大きく陥没・隆起している。		<b>建物から退去</b>
		隣接建築物の損傷、周辺地盤の地割れはあるが、施設への影響はないと思われる。		要注意→専門家の診断
<b>②建物内部(階段・廊下・事務所・会議室等)</b>				
4	床	傾き・陥没している。		<b>立入禁止</b>
		フロア等、床材に損傷があり。		要注意／要修理
5	壁・天井材	間仕切り壁に損傷がある。		要注意／要修理
		天井材が落下している。		<b>立入禁止</b>
		天井材のズレが見られる。		要注意→専門家の診断
6	廊下・階段	大きなX字状のひび割れ多数。 コンクリートの剥落が著しい。 鉄筋の露出が激しい。 壁の向こう側が透けて見える。		<b>立入禁止</b> 2カ所の階段が使用できない場合 → <b>建物から退去</b>
		斜めやX字形のひび割れがある。 コンクリートの剥落はわずか。		点検継続→専門家の診断
7	ドア	外れ・変形している。		要注意／要修理
8	窓枠・窓ガラス	枠が外れ・変形している。		要注意／要修理
		ガラスが割れ・ひびがある		要注意／要修理
9	照明器具	落下している。		要注意／要修理
		ズレが見られる。		要注意／要修理
10	事務機器・書棚	コピー機・FAX機が転倒・停止。		要注意／要修理／要固定
		書棚等が転倒。		要注意／要修理／要固定
		書類等が散乱。		要注意／要復旧

点検項目	点検内容	判定	対応
<b>③設備等</b>			
11	電力	外部電力供給のが停止。	非常電源確保／ 要復旧
		照明・空調の停止。	
12	エレベータ	停止し警報ランプ、ブザー点灯・鳴動。	ビル管理室へ連絡
		カゴ内に人が閉じ込み。	ビル管理室／消防へ
13	上水道	停止状態。	ビル管理室／備蓄品 ／協力井戸の利用
14	下水道・トイレ	水が流れない(溢れている)。	ビル管理室／ <b>使用停止</b> ／災害用トイレ設置
15	通信・電話	停止状態。	代替確保／要復旧
16	消防用設備等	故障・損傷状態。	ビル管理室／要復旧
<b>④セキュリティ</b>			
17	防火シャッター	閉鎖状態で開閉不可能。	ビル管理室／消防へ ／要復旧
18	入退室・施錠管理	セキュリティが機能していない。	要復旧／警備員配置 ／ <b>立入禁止</b>

## 建物・事務所内の状況から最終判断

**継続利用可能** → ①注意点の確認  
 ②専門家の詳細診断の依頼  
 ③要修理・修復点の確認  
 ④立入禁止・使用停止箇所の確認  
 など

**建物から退去** → ①代替先確保  
 ②建物使用(立入)禁止となった場合  
 盗難防止対策  
 ③移転準備

## 業務データのバックアップと緊急時の復旧の手順

### バックアップについて

- ① 金庫にバックアップデータを保存
- ② 外部データ保存

### 緊急時の復旧手順

#### ① 停電によるサーバーの立ち上げについて

停電の際、サーバーは自動的に電源が安全に落ちるように設定されているため手動での電源 OFF の必要はない。自動電源OFFは停電後10分後であるため、各自のパソコンのシャットダウンを確実にこなうことが望ましい。

通常サーバーのシャットダウンを行わないため停電時等自動的にシャットダウンした場合、停電回復時のサーバーの立ち上げについては、手動による電源オンとなるため、手順については次に示すとおりである。手順書をハードウェア近くに設置しておく。

#### <手順>

- ①その他各自使用のノートPCについては、停電時LAN関連の電源が落ちるため、オフラインでの利用を想定する。
- ②自動バックアップの時間を通常より短く設定することで、作成途中のドキュメントがセーブされずシャットダウンしてしまうリスクを軽減する。

## 停電時(計画停電時)の電源確保について

◎HONDA ガス発電機 1台を使用

・出力 900W (電圧 100V、電流 9.0A)

→ パソコン1台、テレビ1台に対応

保管上の注意点

→ 「配管内の残留ガス使いきり」をおこなうこと

カセットボンベを外した状態でエンジンを始動し、停止するまで運転する。

# 安否伝言ダイヤルの活用手順について

## 院長・職員の初動

- ① 自身及び家族の安全確保を行うこと。
- ② 周辺地域の状況を適格に把握すること。
- ③ 「NTT 安否伝言ダイヤル」「NTT 災害用ブロードバンド伝言板(web171)」の使用を徹底すること。

直下型地震が発生した直後はインターネットが使用不可になることを想定する

↓

インターネット相互接続点の収納施設が被災することによりインターネットが使えない

↓

そのため「衛星携帯電話」などの利用を考慮

NTTドコモ(ワイドスター) 通信機器価格 35 万円～、初期費用無料、月額基本料 5145 円～  
30 秒当たり 94.5 円～

災害に強いのは公衆網

公衆網の基幹回線が一部途切れたとしても、網内を迂回させ復旧。

↓

固定回線網よりも携帯電話網の方がより災害に強い

→ 新規固定電話による通信回線の確保は難しい

# NTT 安否伝言ダイヤル（録音） ※利用ガイダンスに従って伝言を録音

ダイヤル

**171** ▶ **ガイダンス**

こちらは災害用伝言ダイヤルセンターです。

録音される方は **1(いち)**、再生される方は **2(に)**、暗証番号を利用する録音は **3(さん)**、暗証番号を利用する再生は **4(よん)**をダイヤルして下さい。

**1** ▶▶▶ **ガイダンス**

被災地の方はご自宅の電話番号、または連絡を取りたい被災地の方の電話番号を、市外局番からダイヤルして下さい。被災地以外の方は連絡を取りたい被災地の方の電話番号を、市外局番からダイヤルして下さい。

**0312345678** ▶ **ガイダンス**

電話番号 03-1234-5678 の伝言を録音します。プッシュ式の電話機をご利用の方は数字の **1(いち)**のあと#(シャープ)を押して下さい。ダイヤル式の方はそのままお待ち下さい。なお、電話番号が誤りの場合、もう一度おかけ直し下さい。ピッ

**プッシュ式電話機** ダイヤル回線を利用の場合、PB信号を出せる操作をした時のみ操作可能となります。

**1 #** ▶▶ **ガイダンス**

「伝言をお預かりします。ピッという音のあとに 30 秒以内でお話下さい。お話が終わりましたら数字の **9(きゅう)**のあと#(シャープ)を押して下さい。」

**ピッ!** <録音開始合図音>

[ 録音伝言 ]

「〇〇です。家族は皆無事で、〇〇小学校に避難しました。落ちついたら連絡します。」

ここで電話を切ること可能です（伝言は録音されています）

**9 #** ▶▶ **ガイダンス**

「伝言を繰り返します。訂正される時は、数字の **8(はち)**のあと#(シャープ)を押して下さい。」

**8 #** ▶▶ **ガイダンス**

録音し直せます。

8#を  
押さない場合 ▶▶ **録音分を再生**

[ 録音伝言 ]

「〇〇です。家族は皆無事で、〇〇小学校に避難しました。落ちついたら連絡します。」

▶▶▶ **ガイダンス**

「伝言をお預かりしました。」

# NTT 安否伝言ダイヤル（再生） ※利用ガイダンスに従って伝言を再生・録音

ダイヤル

**1 7 1** ▶ ガイダンス

こちらは災害用伝言ダイヤルセンターです。

録音される方は **1(いち)**、再生される方は **2(に)**、暗証番号を利用する録音は **3(さん)**、暗証番号を利用する再生は **4(よん)**をダイヤルして下さい。

**2** ▶▶▶ ガイダンス

被災地の方はご自宅の電話番号、または連絡を取りたい被災地の方の電話番号を、市外局番からダイヤルして下さい。被災地以外の方は連絡を取りたい被災地の方の電話番号を、市外局番からダイヤルして下さい。

**0 3 1 2 3 4 5 6 7 8** ▶ ガイダンス

電話番号 03-1234-5678 の伝言を録音します。プッシュ式の電話機をご利用の方は数字の 1(いち)のあと#(シャープ)を押して下さい。ダイヤル式の方はそのままお待ち下さい。なお、電話番号が誤りの場合、もう一度おかけ直し下さい。ピッ

**プッシュ式電話機** ダイヤル回線を利用の場合、PB信号を出せる操作をした時のみ操作可能となります。

**1 #** ▶▶▶ ガイダンス

「新しい伝言からお伝えします。伝言を繰り返すときは数字の 8(はち)のあと#(シャープ)を、次の伝言に移るときは数字の 9(きゅう)のあと#(シャープ)を押して下さい。」

## 再生 < 伝言 >

「〇〇です。家族は皆無事で、〇〇小学校に避難しました。落ちいたら連絡します。」

→ 「この伝言は〇日午前／午後〇時〇分におあずかりしました。」

**8 #** ▶▶▶ ガイダンス

今の伝言を繰り返します → 「伝言をお伝えします。」

**9 #** ▶▶▶ ガイダンス

押さない場合は、次へ移行

↓ 「次の伝言をお伝えします。」(複数伝言があった場合)  
「お伝えする伝言は以上です。」

▶▶▶ ガイダンス

「伝言を追加して録音されるときは数字の 3(さん)のあと#(シャープ)を押して下さい。ピッ」

**3 #** ▶▶▶ ガイダンス

押さない場合は、次へ移行

↓ 3#を押した場合は「伝言の録音を促す」旨のガイダンスが流れ録音ができます。

伝言登録数が限度を超えた場合や、追加録音規制中の場合には「新しい伝言を受け付けられない」旨のガイダンスが流れます。

▶▶▶ ガイダンス

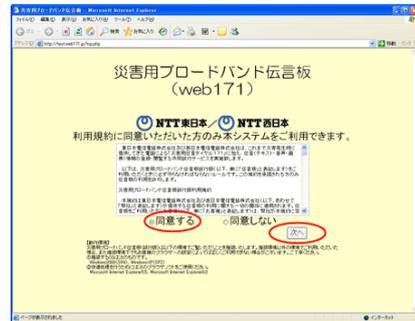
「電話をお切り下さい。」

# NTT 災害用ブロードバンド伝言板 (web171) の登録

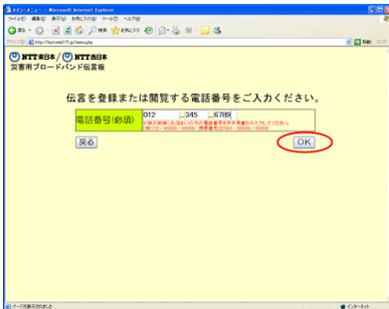
① <https://www.web171.jp/> へアクセスする。



② 利用規約を確認後、「同意する」にチェックをして「次へ」ボタンをクリックする。

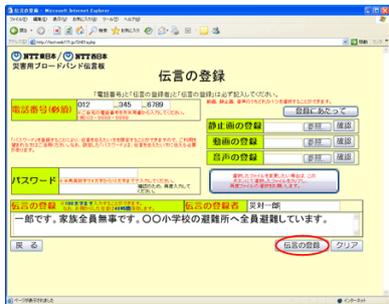


③ 伝言を登録する電話番号を入力後、「OK」ボタンをクリックする。



電話番号（必須）：被災地域にお住まいの方の電話番号を市外局番から入力して下さい。

④ 伝言を入力後、「伝言の登録」ボタンをクリックします。（パスワードを登録しない場合の入力方法）



伝言の登録者（必須）：伝言の登録者名を入力して下さい。  
伝言の登録：全角換算で 100 文字まで入力することができます。  
お預かりした伝言は 48 時間保存します。  
静止画、動画、音声の登録：静止画、動画、音声のうちどれか 1 つを選択することができます。

⑤ 確認画面が表示されますので宜しければ「OK」をクリックします。



⑥ 「伝言を受付しました」の画面が表示されましたら登録完了です。

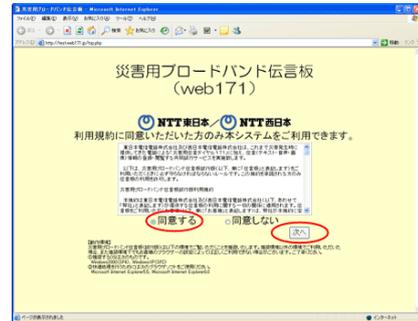


# NTT 災害用ブロードバンド伝言板 (web171) の閲覧・追加登録

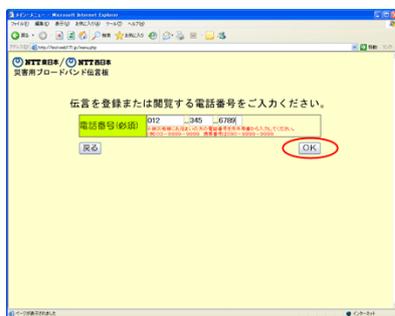
① <https://www.web171.jp/> へアクセスする。



② 利用規約を確認後、「同意する」にチェックをして「次へ」ボタンをクリックする。



③ 伝言を閲覧する電話番号を入力後、「OK」ボタンをクリックする。

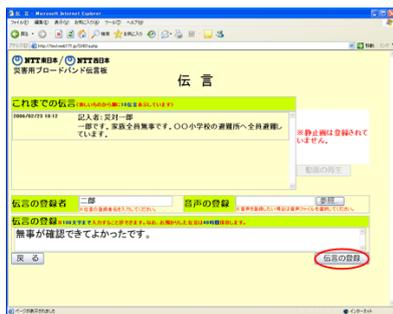


④ 伝言の閲覧画面が表示される。



電話番号（必須）：被災地域にお住まいの方の電話番号を市外局番から入力して下さい。

⑤ 閲覧後、返信の伝言を登録する場合は以下必要な事項を入力して「伝言の登録」ボタンをクリックします。

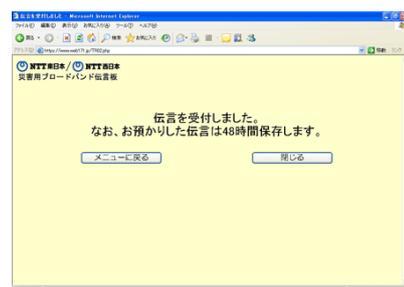


伝言の登録者（必須）：伝言の登録者名を入力して下さい。  
 音声の登録：音声を登録したい場合は音声ファイルを選択して下さい。  
 伝言の登録：全角換算で100文字まで入力することができます。  
 お預かりした伝言は48時間保存します。

⑥ 確認画面が表示されますので宜しければ「OK」をクリックします。



⑦ 「伝言を受付しました」の画面が表示されましたら登録完了です。



## 全社（携帯電話・PHS 事業者 5 社）一括検索機能について

2010 年 3 月 1 日より、災害用伝言板に登録されている安否情報について、携帯電話・PHS 事業者 5 社を横断的に検索可能な「全社一括検索サービス」の提供が開始している。これに伴いそれぞれの災害用伝言版から、携帯電話・PHS 事業者 5 社の災害用伝言板に登録された安否情報を一括検索することができる。

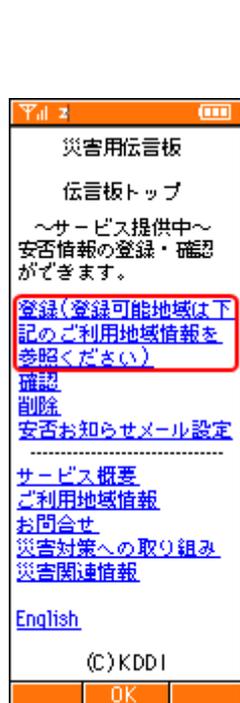


### 災害用伝言板サービス内容

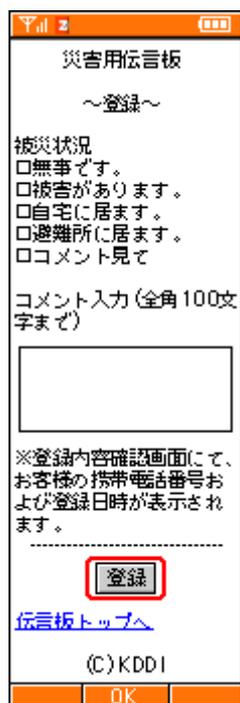
#### <内容>

被災状況 「無事です。」「被害があります。」「自宅に居ます。」「避難所に居ます。」「コメント見て」から選択  
コメント入力 全角 100 文字まで  
保存期間 1 つの災害でのサービスを終了するまで  
※ 10 件を超えるメッセージは古いものから順次上書きされます。  
登録可能件数 10 件/1 電話番号

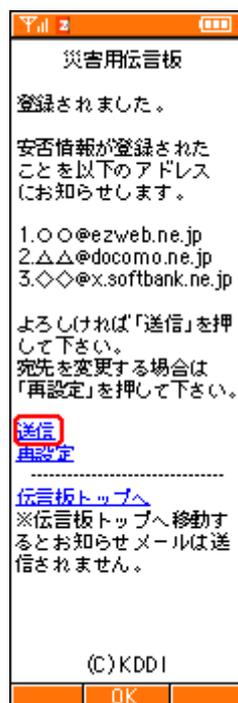
#### ①EZweb からの安否情報の登録方法



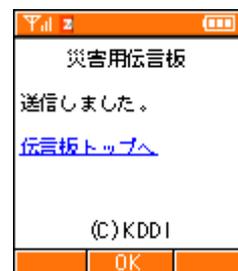
(1) [登録] を選択



(2) 被災状況について 5 つのコメントの中から選択  
任意で 100 文字以内のコメント  
[登録] ボタンを押す

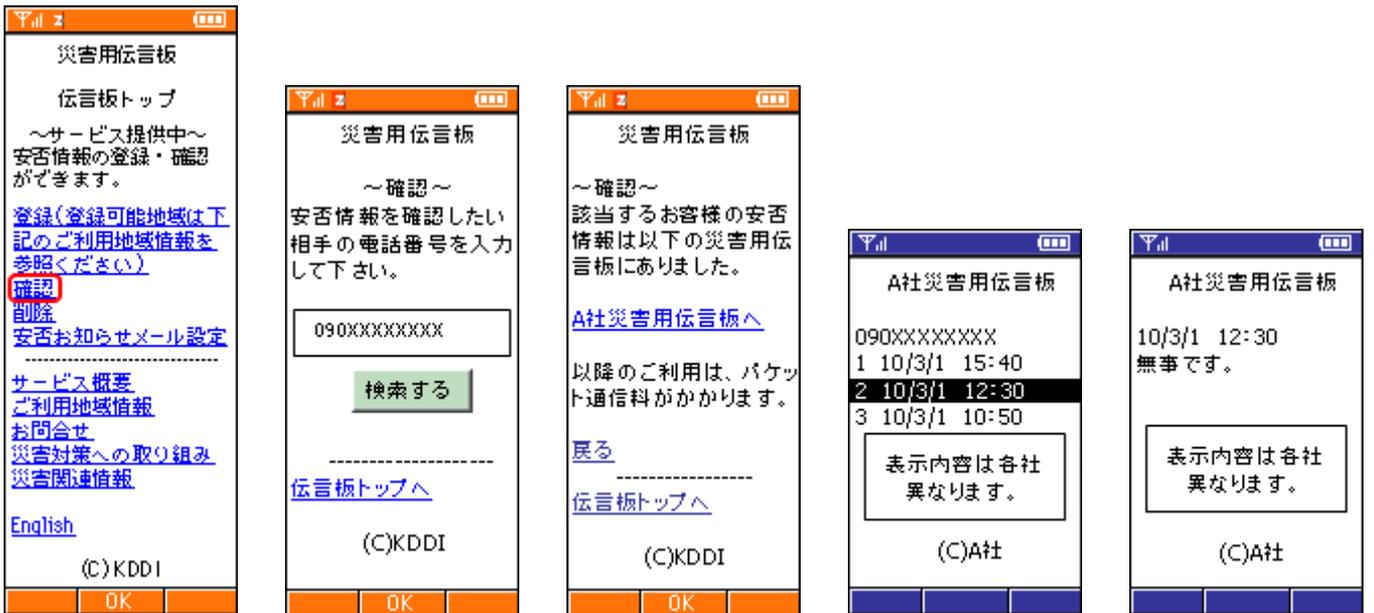


(3) [送信] を選択



(4) お知らせメール送信が完了

## ②EZweb からの安否情報の確認方法



(1) [確認] を選択

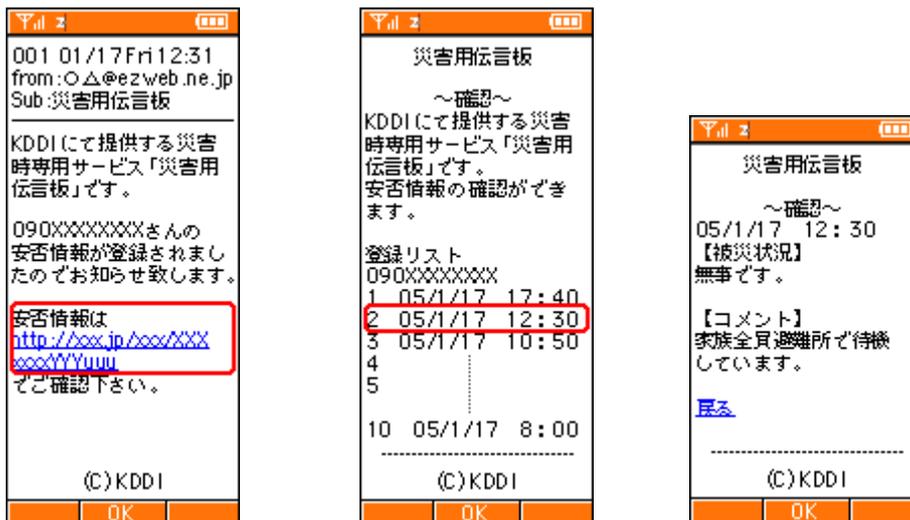
(2) 安否情報を確認したい方の携帯電話番号を入力  
[検索] を選択

(3) au 電話以外を利用の場合でも検索し、該当の事業者の災害用伝言板へのリンクが表示される  
※ au 電話の場合は、(3)の画面は表示されず、(4)の選択画面が表示

(4) 確認したい安否情報を選択

(5) 該当事業者の災害用伝言板のメッセージが表示される

## ③「お知らせメール」からの安否情報の確認方法



(1) メール本文の安否情報 URL をクリック

(2) 確認したい安否情報を選択

(3) 登録されている被災状況とコメントが見れる

- <内容>** iモード契約者で、且つ、登録可能エリアにいる方のみ利用可能
- 被災状況 「無事です。」「被害があります。」「自宅に居ます。」「避難所に居ます。」から選択
- コメント入力 全角 100 文字まで
- 保存期間 1つの災害でのサービスを終了するまで
- ※ 10件を超えるメッセージは古いものから順次上書きされます。
- 登録可能件数 10件/1電話番号

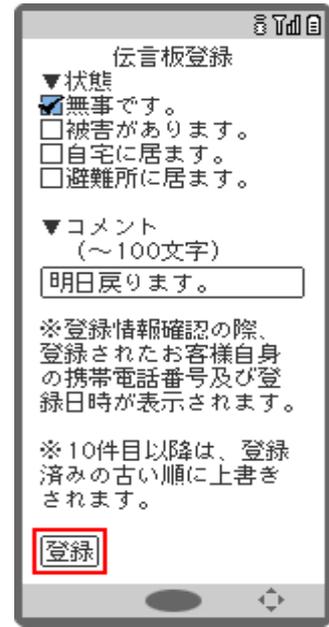
## ①メッセージの登録方法 (ファミリー割引グループ以外)



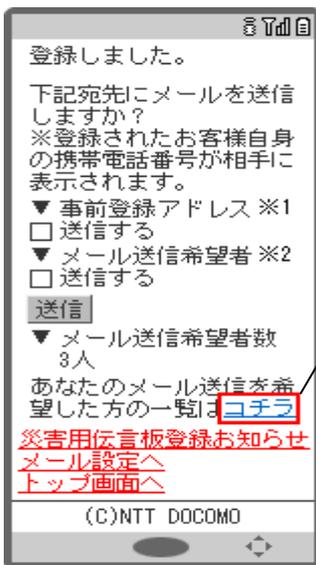
(1) 「災害用伝言板」を選択



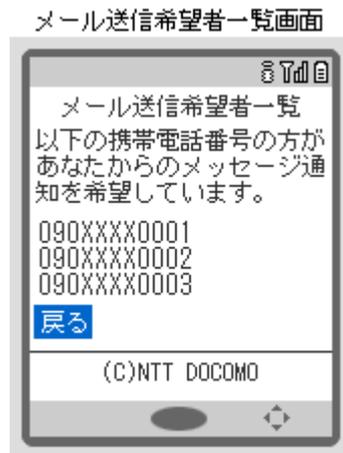
(2) 「安否の登録」を選択



(3) 状態について 4 つの中から選択し、任意でコメントを入力



「コチラ」をクリックすると、メール送信希望者一覧が表示される



(4) 「登録」を押すと、伝言板への登録が完了。送信する場合は、「送信」を押す

## ②メッセージの確認方法

### PHS やパソコンからのメッセージ確認

(日本語版) <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>

(英語版) <http://dengon.docomo.ne.jp/Etop.cgi>

→ 伝言板は、サービス提供期間中のみアクセス可能。それ以外の期間は利用できない。

### 他携帯電話事業者の災害用伝言板へのアクセス

(au) <http://dengon.ezweb.ne.jp>

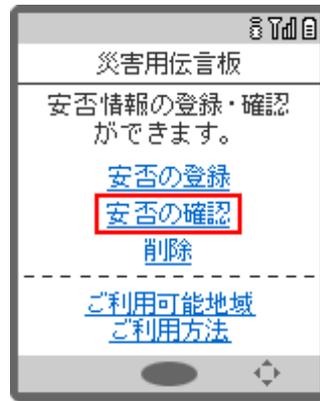
(ソフトバンクモバイル) <http://dengon.softbank.ne.jp>

(ウィルコム) <http://dengon.willcom-inc.com>

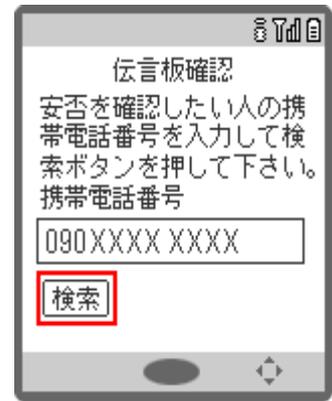
→ 検索により、メッセージが見つからない場合、他携帯電話事業者の災害用伝言板へのリンク選択画面が表示される



(1) 「災害用伝言板」を選択



(2) 「安否の確認」を選択



(3) 安否を確認したい人の携帯電話番号を入力して検索を押す

## ◎メッセージが登録されていない場合

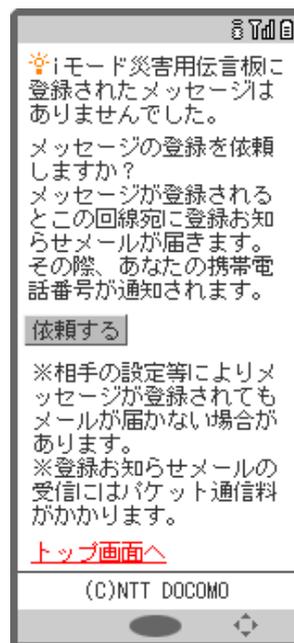
### ◎メッセージが登録されている場合



(4) メッセージを選択



(5) メッセージを確認

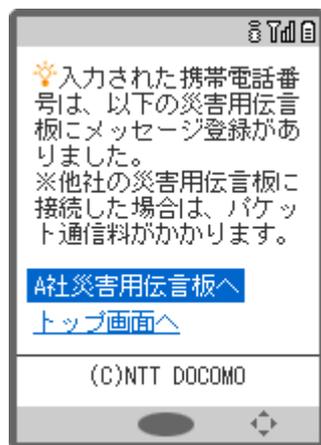


(4) メッセージの登録を依頼する場合は、「依頼する」を押す

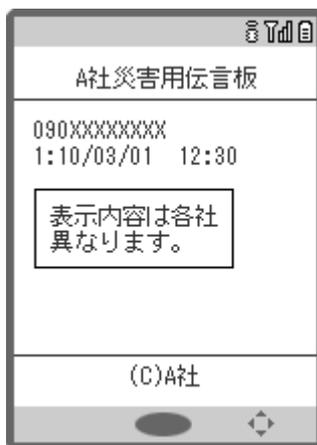


(5) 設定完了

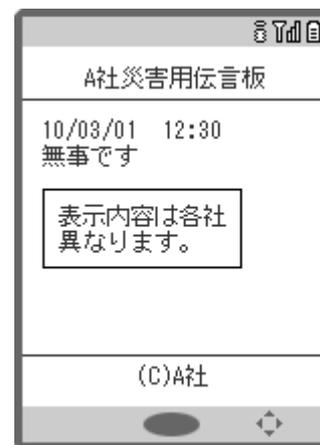
### ◎他社契約携帯電話番号で、メッセージ登録されている場合



(4) 相手方がドコモ以外でも検索し、該当の事業者(A社)の災害用伝言板へのリンクを表示



(5) 該当事業者(A社)の災害用伝言板のメッセージが表示される。



# SoftBank 災害用伝言板サービス内容

- <内容>** SoftBank 3G(Yahoo!ケータイ対応機種)、iPhone、SoftBank スマートフォン(X シリーズを含む)  
 被災状況 「無事です。」「被害があります。」「自宅に居ます。」「避難所に居ます。」から選択  
 コメント入力 全角 100 文字まで  
 保存期間 1つの災害でのサービスを終了するまで  
 ※ 10件を超えるメッセージは古いものから順次上書きされます。  
 登録可能件数 10件/1電話番号

## ①メッセージの登録方法

(1) 「災害用伝言板」を選択

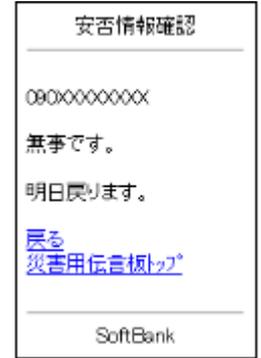
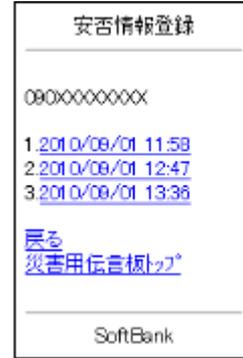
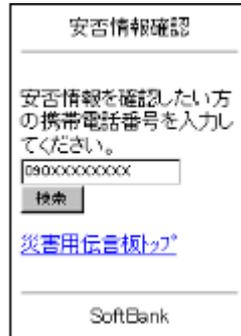
(2) 「登録」を選択

(3) 状態について4つの中から選択し、任意でコメントを入力

(4) 「送信」を押すと、設定したアドレスに安否情報が登録されたことがEメールで自動送信される

(5) 送信完了

## ②メッセージの確認方法



(1) 「災害用伝言板」を選択

(2) 「確認」を選択

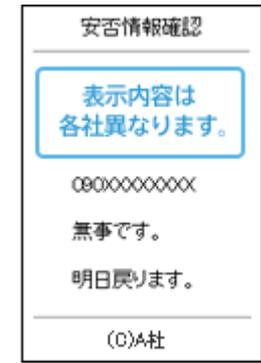
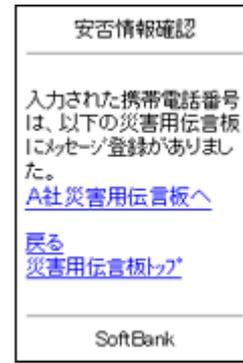
(3) 安否情報を確認したい携帯電話番号を入力し、[検索]を押す

(4) 「安否情報」を選択

(5) 「安否情報」が表示される



他事業者に伝言が登録されている場合



(4) 他事業者に伝言が登録されている場合は、該当事業者の伝言ページへのリンクが表示される

(5) 該当事業者の災害用伝言板のメッセージが表示される

## ※SoftBank スマートフォンの場合の登録・確認方法

### ①メッセージの登録



(1) aho!トップから[My SoftBank]を選択

(2) My SoftBank にログイン

(3) 災害用伝言板の[詳しくはこちら]を選択

(4) [登録]を選択

※ 以下登録手順にしたがってメッセージの登録を行う。

### ②メッセージの確認



(1) aho!トップから[My SoftBank]を選択

(2) My SoftBank にログイン

(3) 災害用伝言板の[詳しくはこちら]を選択

(4) [確認]を選択

※ 以下確認手順にしたがってメッセージの確認を行う。

## 災害対応用具チェックリスト

- 被災時において緊急支援が到着するまでに必要となる防災用具の整備状況は以下のとおりである。

食料関係	
	水の確保 → 飲料用 ペットボトル 水 2リットル 18本 <b>賞味期限 2013.8</b> ペットボトル お茶 2リットル 5箱 30本を常に確保する その他 ウォータータンク 10L折りたたみ式 10個 ⇒ 近所の協力井戸で確保
	食料の確保 → 事務局 20人×16食(非常食安心セット アルファード食品) <b>賞味期限 2016.7</b>
	マルチパーパスツール 1本
	食器(紙製 皿 80枚、お椀 60枚)、箸 100本、スプーン 30本
	サランラップ 大 30cm×20m 5本、中 22cm×50m 5本
	カセットコンロ 2個、ガスボンベ 12本
	なべ 30cm1個、やかん 5L1個
救命・救助用品関係	
	救急セット 薬 胃薬1箱 <b>使用期限 2014.7</b> 、風邪薬1箱 <b>使用期限 2014.6</b> 、目薬2個 <b>使用期限 2014.7</b> 湿布1箱 <b>使用期限 2014.3</b> 、消毒薬5個 <b>使用期限 2015.2</b> ガーゼ 滅菌ガーゼ L(8枚入)3箱 <b>使用期限 2014.4</b> 、M(10枚入)3箱 <b>使用期限 2014.5</b> パッド ワンタッチ L(3枚入)3個 <b>使用期限 2016.6</b> 、M(5枚入)3個 <b>使用期限 2016.6</b> バンドエイド キズ(10枚入)1箱 <b>使用期限 2014.2</b> 、ウォーターブロック(40枚入)1箱 <b>使用期限 2014.7</b> 熱さまシート 1箱(16枚入) <b>使用期限 2014.5</b> 包帯( LL 2本、L 2本、M 2本、S 2本)、三角巾 3枚 テープ 2本、テーピングテープ 2本、防水シート 2本、綿棒 2個、削げ抜き 2個(2本組)
	衛生用具類(ウェットティッシュ 10個、トイレトペーパー 36個)
	作業用防具類 事務局各自配布(ヘルメット 20個、防塵マスク 20個) 作業用手袋 皮製 20組、布製 24組
	工具類 (ペンチ、ニッパー、ハンマー、遮断レンチ、バール、のこぎり)
	ブルーシート 3枚(3.6m×3.6m 2枚、4.5m×4.5m 1枚)
	ロープ 2本(12mm×20m)
照明等機器関係	
	事務局各自配布(ラジオ付懐中電灯 手巻充電型 20個)
	懐中電灯 5本(部会ごと)、予備乾電池 単3 10本
	キャンプ用ランタン 2個、ランタンガス(250T 2個、500T 2個)、マントル 2個(2枚入)
	ガスライター 2本
簡易製品関係	
	簡易トイレセット 2個
	蓋付きポリバケツ 2個、ほうき 2本、ちりとり 1個



## 災害時協力井戸

阪神・淡路大震災では、水道施設の復旧に3ヶ月を要した。そのため水道が断水したときに役立ったのは、地下水や河川、ため池など、自然の水であった。井戸水を使って、飲み水や消火用水などを確保したり、川の水で洗濯を行ったり、池の水をトイレの水に利用したりと、様々な場面で住民の避難生活を支えることとなった。そのため、京都市では市民が所有している井戸を「災害時協力井戸」として登録し、大震災などの災害時に地域の皆さんへ井戸水を提供する制度を設けている。

登録している住宅などには、写真のように「災害時協力井戸の家」の標識が付いている。



上京区、中京区、下京区についてはマップホルダーの配置図参照

# 原子力災害

原子力災害とは、原子力施設の事故等に起因する放射性物質又は放射線の異常な放出により生じる被害を意味する。原災法においては、原子力施設外における放射性物質又は放射線の放出が一定の水準を超えた場合には、原子力緊急事態に該当するものとされ、種々の緊急事態応急対策が講じられることとなる。

## ① 放射性物質又は放射線の放出又の形態

原子炉施設において、大気へ放出の可能性がある放射性物質としては、気体状のクリプトン、キセノン等の希ガス及び揮発性のヨウ素、気体中に浮遊する微粒子(以下「エアロゾル」という。)等の放射性物質がある。これらは、気体状原子炉施設あるいは粒子状の物質を含んだ空気の一団(以下「プルーム」という。)となり、移動距離が長くなる場合

は拡散により濃度は低くなる傾向があるものの、風下方向に一定の距離を移動するため広範囲に影響が及ぶ可能性がある。また、降雨雪がある場合には、地表に沈着し長期間留まる可能性がある。

固体及び液体状の放射性物質については、瓦礫に付着する場合や冷却水に溶ける場合があり、それらの飛散や流出には特別な留意が必要である。

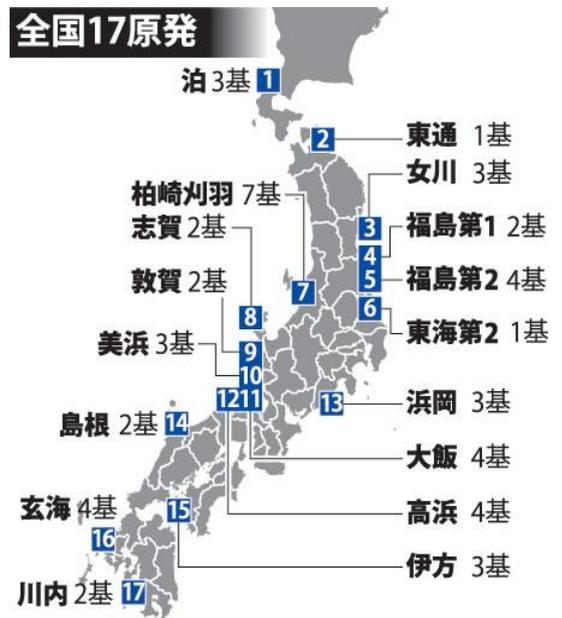
核燃料施設においては、火災、爆発、漏えい等によって当該施設からウラン又はプルトニウム等がエアロゾルとして放出されることが考えられる。これらの放射性物質は原子炉施設と同様にプルームとなって放出、拡散される。フィルタを通して放出された場合には、気体状の物質とほぼ同様に振る舞うと考えられる。ただし、爆発等によりフィルタを通さずに放出された場合には、粗い粒子状の放射性物質が容量として多くなるので、気体状の物質よりは早く沈降する傾向があり、別途留意が必要である。

臨界事故が発生した場合、核分裂反応によって生じた核分裂生成物の放出に加え、反応によって中性子線及びガンマ線が発生する。遮へい効果が十分な箇所が発生した場合は放射線の影響は無視できるが、効果が十分でない場合は、中性子線及びガンマ線に対する防護が必要である。

## ② 被ばくの経路

被ばくの経路には、大きく「外部被ばく」と「内部被ばく」の2種類がある。これらは複合的に起こりえることから、原子力災害対策の実施に当たっては双方を考慮する必要がある。

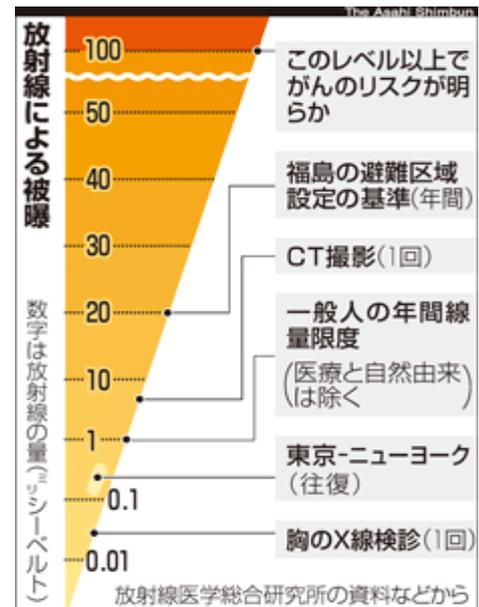
- (i) 外部被ばく 外部被ばくとは、体外にある放射線源から放射線を受けること。
- (ii) 内部被ばく 内部被ばくとは、放射性物質を吸入、経口摂取等によって体内に取り込み、体内にある放射線源から放射線を受けること。



### ③ 原子力災害の特殊性

原子力災害では、放射性物質又は放射線の放出という特有の事象が生じる。したがって、原子力災害対策の実施に当たっては、以下のような原子力災害の特殊性を理解する必要がある。

- ・原子力災害が一度発生した場合には被ばくや汚染により復旧・復興作業が困難又は不可能となることから、原子力災害そのものの発生又は拡大の防止が極めて重要であること。
- ・放射線測定器を用いることにより微量の放射性物質又は放射線の存在は検知できるが、その影響をすぐに五感で感じることができないこと。
- ・普段から放射線についての基本的な知識と理解を必要とすること。
- ・原子力に関する専門的知識を有する機関の役割、当該機関による指示、助言等が極めて重要であること。
- ・放射線被ばくの影響は被ばくから長時間経過した後に現れる可能性があるため、事故発生時から継続的に健康管理等を実施することが重要であること。



### ④ 防護措置

放射性物質若しくは放射線の異常な放出又はそのおそれがある場合に、被ばくをできるだけ低減するために講ずる措置を防護措置という。防護措置には、屋内退避、避難、安定ヨウ素剤予防服用、飲食物の摂取・出荷制限等が考えられる。

#### 1. 屋内退避

屋内退避は、避難までの時間的猶予がない場合であって、短時間のプルーム通過による被ばくを回避するためには有効である。また、原子力施設から生じる中性子線及びガンマ線については、建家等の遮へい効果があるため、遮へい効果の高い場所への屋内退避により被ばくの低減が可能である。コンクリート建家については、一般的には遮へい効果や建家の気密性が比較的高いものである。ただし、屋内退避が長期にわたる場合又は見込まれる場合には、気密性の低下により被ばく低減効果が失われること、さらに日常生活の維持に困難を伴うこと等から、避難の実施を検討する必要がある。

#### 2. 避難

防護措置の中でも、避難は、放射性物質が大量に放出する前に実施することが可能な場合には、被ばくの低減化の効果が最も大きい防護措置である。特に、放射性物質が大量に放出するまでに十分な時間的余裕があり、長期間放出が予想され、しかも避難によらなければ相当な被ばくを避け得ない場合、既に放射性物質が大量に放出されて環境に沈着したため避難により被ばくを避ける必要がある場合等には効果が高い。また、原子力施設からの中性子線及びガンマ線の影響が大きい場合は、放射線量が原子力施設からの距離のほぼ2乗に反比例して減少すること及びその影響を受ける範囲が限定されていることから、避難による混乱を考慮しても、避難は検討されるべき重要な手段である。

したがって、急速に進展する事故に対応し、重篤な確定的影響等を回避するためには予防的防護措置としての避難が実施されるべきである。その際、放射線量の測定値等から、予め設定された基準に従って避難を行うことが有効であり、風向きを考慮し、風下軸からある幅を持った範囲に対して措置を講じる必要

がある。

### 3. 安定ヨウ素剤の服用

放射性ヨウ素は、人が吸入又は汚染された飲食物を摂取することにより、身体に取り込まれると、甲状腺に集積するため、放射線の内部被ばくによる甲状腺がん等の晩発性影響を発生させる可能性がある。この内部被ばくに対して、安定ヨウ素剤の予防的服用により、放射性ヨウ素の甲状腺への集積を防ぐことが可能である。

この観点から、安定ヨウ素剤の服用も防護措置の選択肢として考えるものであるが、そもそも放射性物質からの影響を直接的に避ける屋内退避や避難が防護措置として優先されること、甲状腺以外の臓器への内部被ばく及び希ガス等による外部被ばくに対して放射線影響を防護する効果は全くないこと、個人により副作用を生じるおそれがあること等に留意する必要がある。このため、安定ヨウ素剤を予防服用については、放射性物質の放出状況等を踏まえ、時間経過により屋内退避の有効性が低下する場合、プルームの移動により避難等区域外の広域に放射性物質の拡散が予見される場合等、安定ヨウ素剤を予防服用することで屋内退避や避難より合理的かつ効果的な防護措置が可能となる場合に実施することが適切である。

### 4. 緊急被ばく医療

防護措置に関わらず、住民等が被ばくを受けた場合に備え、緊急被ばく医療を実施することが必要である。また、その実施するに当たっては、除染の必要の有無を判断する等の被ばく状況に応じた対応があること、放射性物質の汚染がある場合にその拡大を防止すること、被ばく医療特有の病態と治療があること等の被ばく医療の特殊性を踏まえた対応が必要である。

### 5. スクリーニング

緊急被ばく医療等を適切に実施するためには、汚染の程度の把握等のために、スクリーニングの実施が不可欠である。

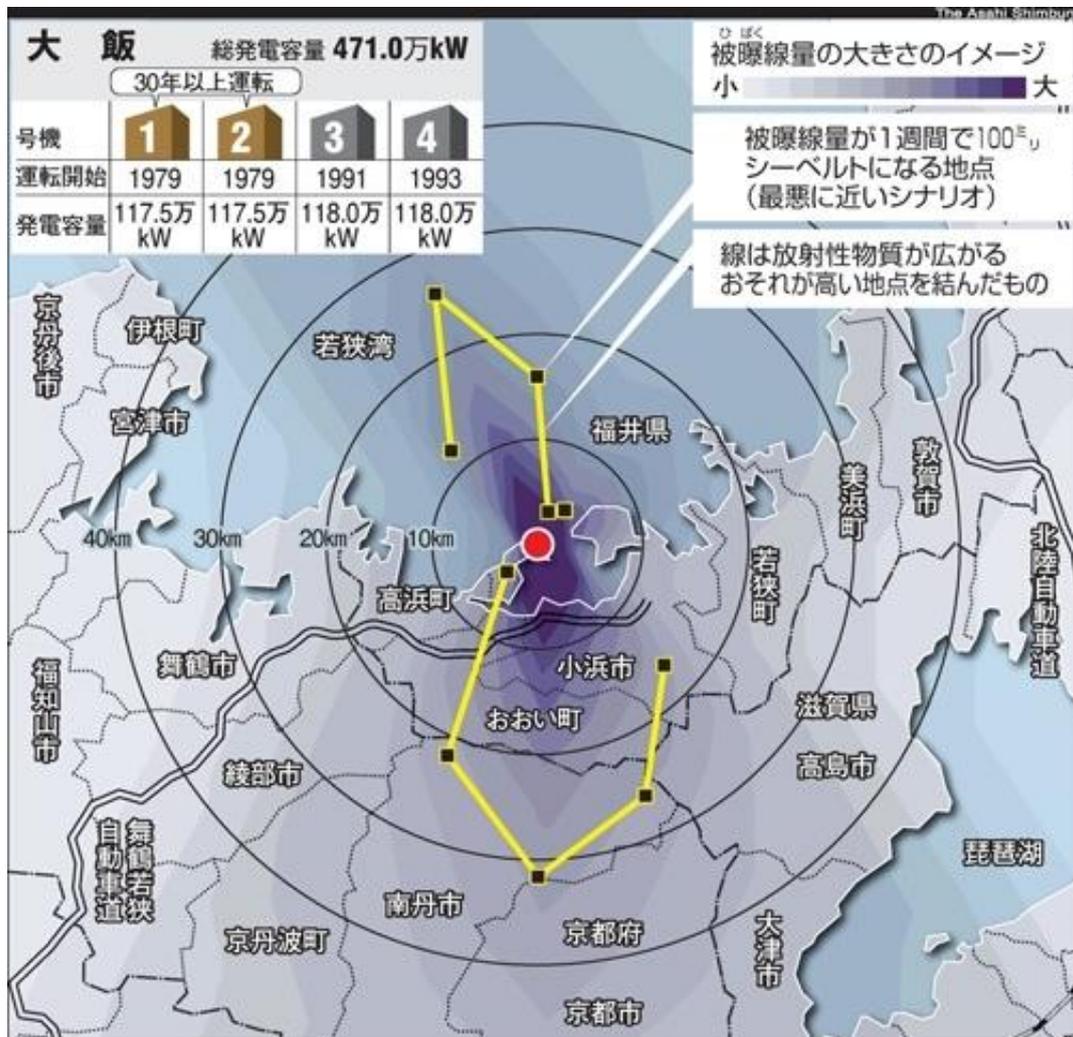
### 6. 飲食物摂取・出荷制限

飲食物の経口摂取等による内部被ばくに対しては、飲食物の流通形態によってはかなりの広範囲に及ぶ可能性もあること等を踏まえて、飲食物中の放射性物質の濃度をモニタリングした上で、その結果に応じて、飲食物の摂取・出荷制限措置を講じる必要がある。また、実際に当該措置を講じる際には、代替飲食物の供給等の対策をとる必要がある。

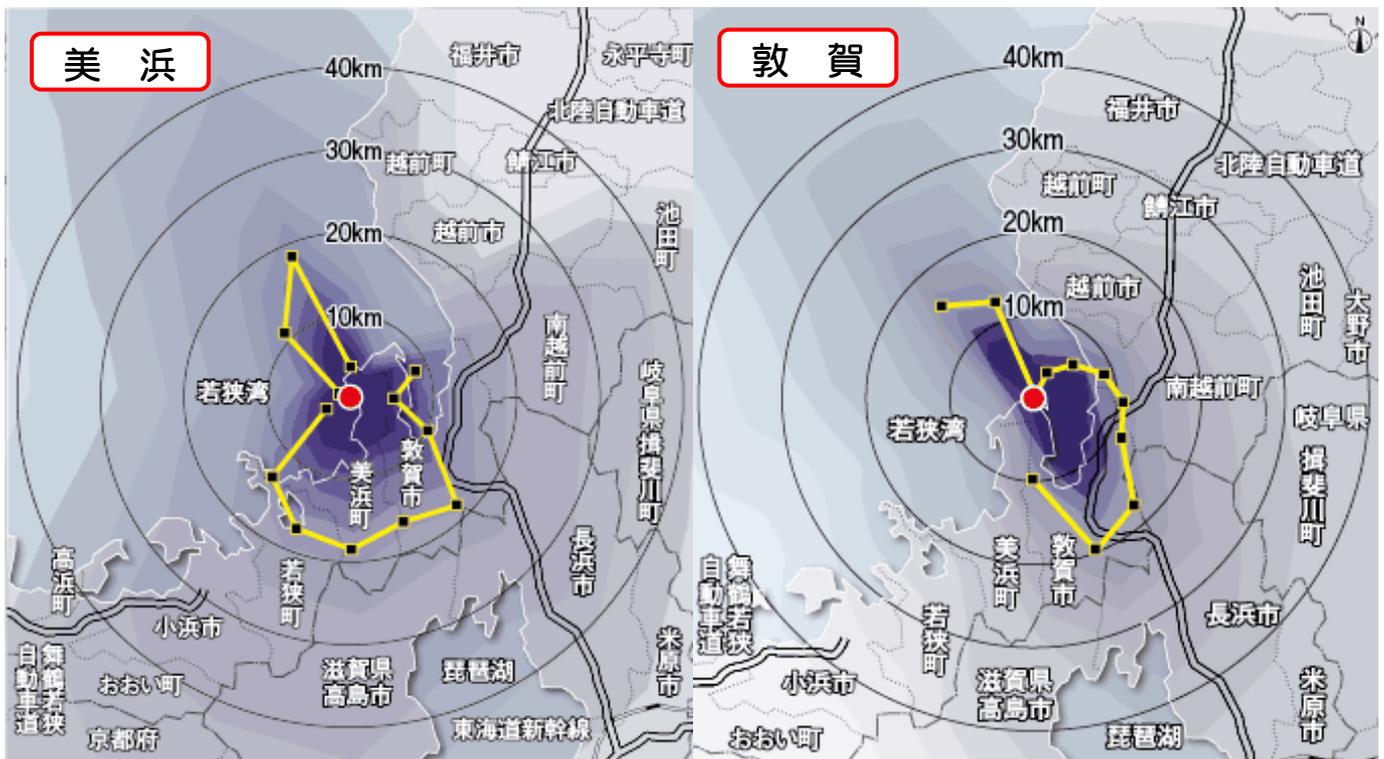
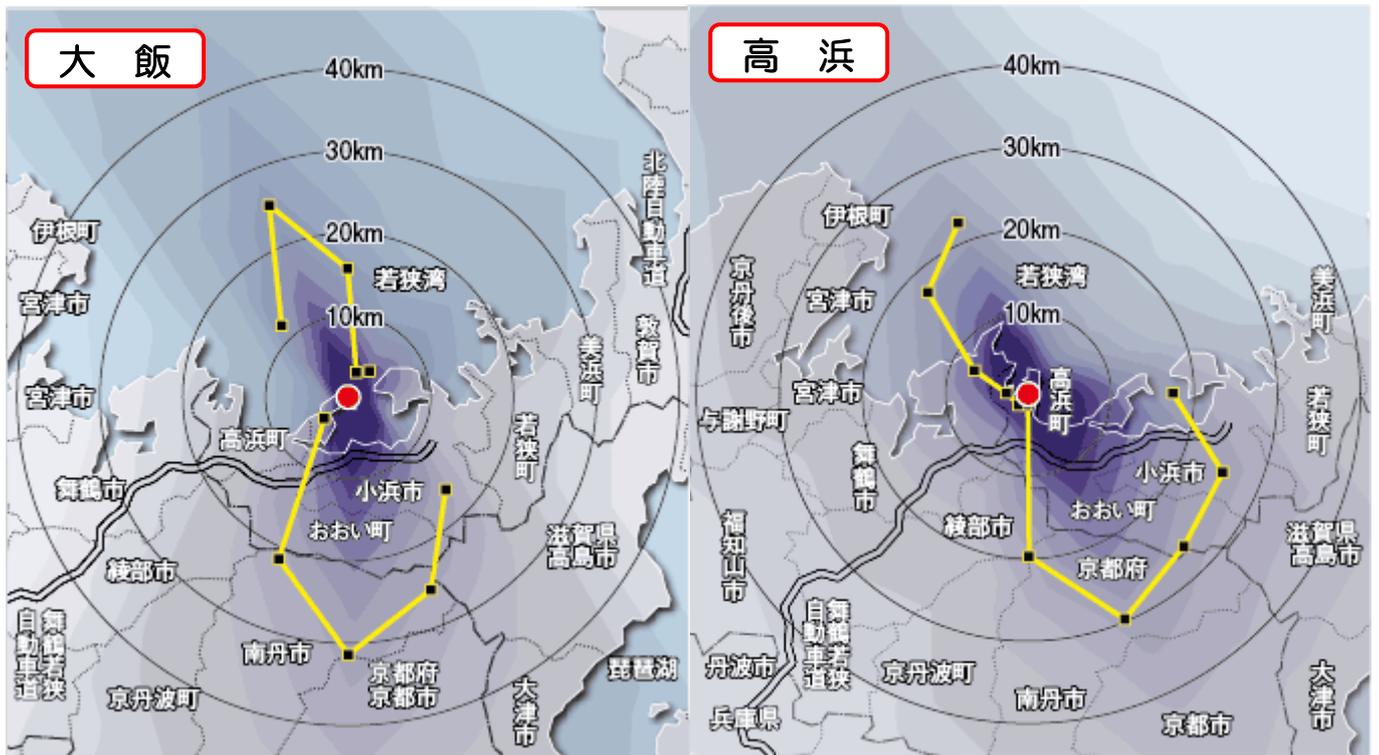
なお、一般的には、避難と比較すれば措置を講じるまでには時間的猶予があると考えられるため、原子力施設からの放射線や放射性プルームによる被ばくへの対応措置の次に講じることが適切と考えられる。

## 稼働中の大飯原発について

大飯原発は、南南西から南東方向に放射性物質が広がりやすく、県境を越えて南に32.2キロ離れた京都府南丹市内でも積算被曝線量が100ミリに達する。隣接する関電高浜原発の予測では、大飯原発が避難基準値に達する地域に入る。高浜原発で事故が起きれば大飯原発も影響を受ける結果となる。



福井県 4原発の被曝線量イメージ図 (原子力規制委員会 2012.10.30)



■ 被曝線量が1週間で $100\text{Sv}$ シーベルトになる地点。(最悪に近いシナリオ) 線は放射性物質が広がるおそれが高い地点を結んだもの。  
 被曝線量の大きさのイメージ 小  大



## クリニック 事業復旧優先順位

業務単位で優先度の高い業務に関連するシステムから順に復旧させる。これは、重要業務を優先して復旧させようとしても、全システムが復旧しない限り業務が再開できない時間的ロスをなくすため、最重要業務に関連するシステムを優先的に復旧する準備を整える。

そのため、事前に業務の優先順位を決定し、その業務ごとにシステム管理する体制への変更が必要となる。

全システムを一斉に復旧するのではなく、業務で構成しシステム管理を行う

例えば 外来診療業務

訪問診療業務 など整理するのもその一つ

業務・部門に係る情報

当クリニックにおける事業及びそれに係る情報は以下のとおりである。

業務・部門		
責任者		
	会社名	
	連絡先	
	担当者	
	会社名	
	連絡先	
	担当者	
目標復旧時間	2週間(被災状況により延びる可能性あり)	
事業中断の 可能性がある災害等	大震災	
備考		

業務・部門		
事業の責任者		
	会社名	
	連絡先	
	担当者	
	会社名	
	連絡先	
	担当者	
	会社名	
	連絡先	
	担当者	
目標復旧時間	2週間(被災状況により延びる可能性あり)	
事業中断の 可能性がある災害等	大震災	
備考		

業務・部門		
事業の責任者		
	会社名	
	連絡先	
	担当者	
	会社名	
	連絡先	
	担当者	
	会社名	
	連絡先	
	担当者	
目標復旧時間	2週間(被災状況により延びる可能性あり)	
事業中断の可能性 がある災害等	大震災	
備考		

## 近隣医療機関との連携

## 電話／FAX番号シート

- 所有する電話／FAX(ひかり回線 1回線「NTTフレッツ光」)
- 番号には以下のものがある。

電話番号	タイプ 内線、外線、フリーダイヤル、 FAX、携帯電話、その他	状態 「現在、使用中」または、 「復旧期間中のみ確立」	重要度 中核事業の継続に関する重要度 を「高」、「低」により評価する
075-212-8877	外線(代表)	現在、使用中	高

備考:

ネット回線

テレビ受信環境

## コンピュータ、周辺機器など

- 当会の中核事業継続においてボトルネックとなるコンピュータ、周辺機器及びソフトウェアには以下のものがある。

### 【検討課題】

当該資源を利用する 社内重要業務	
社内責任者	
当該資源の現状	<input type="checkbox"/> 現在、使用中 <input type="checkbox"/> リース予定 / 購入予定
品名(バージョン等)	
数量(機器)	ノートパソコン●●台 家庭用プリンタ:●台、複合機:●台
タイプ	<input type="checkbox"/> コンピュータ(パソコンやサーバなど) <input type="checkbox"/> 各種周辺機器 <input type="checkbox"/> ソフトウェア
供給業者	
供給業者(予備)	
事業継続の際の 想定設置場所	
備考 (購買/リースした日付・価格、 シリアル番号 等)	





## 職員連絡リスト<個別用>

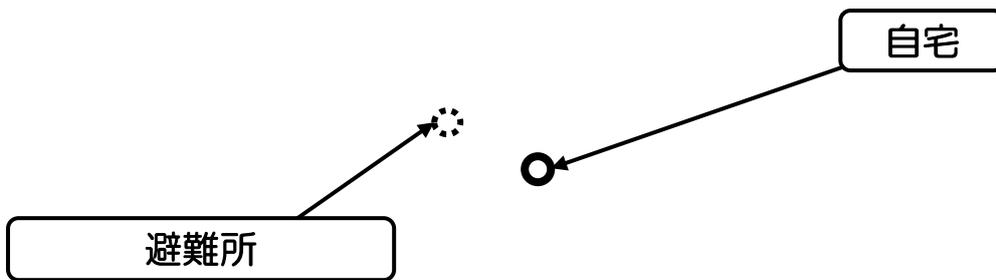
---

## 職員連絡リスト<一覧>

リスト No.	氏 名	役 職	電話番号	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

1	氏名		役職	
自宅住所				
自宅電話・FAX				
携帯電話番号				
メール				
その他連絡先				
備考				

地図を入れる



# 職員被災状況集計表

---

# 職員被災状況報告集計表

( 年 月 日 時 分現在)

## ① 身体的被災状況

・ 本人	死亡	名	・ 家族	死亡	名
	重症	名		重症	名
	中等	名		中等	名
	軽症	名		軽症	名
	無事	名			

## ② 家屋の被災状況

全壊	名	立入禁止	名
半壊	名	一部損壊	名
全焼	名	無事	名

## ③ クリニックまでの交通手段(代替手段)

公的代替手段	有	名	自己の代替手段	有	名
〃	無	名	〃	無	名
			徒歩		名

### 片道時間

・ 10分以内	名	1時間30分～2時間以内	名
・ 30分以内	名	2時間～3時間	名
・ 30分～1時間以内	名	3時間～4時間	名
・ 1時間～1時間30分以内	名	4時間以上	名

# 被災状況報告集計表

( 年 月 日 時 分現在)

<p>① 事務局被災状況</p> <p>死亡 名 重症 名 中等 名 軽症 名 無事 名</p>	<p>死亡者氏名等</p>	<p>帰宅希望者</p> <p>残留志願者氏名</p>
<p>② クリニック損壊状況</p> <p>壁・天井等の破損 無 ・ 有 ( )</p> <p>窓ガラス 無 ・ 有 ( )</p> <p>電気 使用不能 ・ 一部使用不能 ・ 使用可能</p> <p>電話 不 通 ・ 一部不通 ・ 通話可能</p> <p>水道 使用不能 ・ 一部使用不能 ・ 使用可能</p> <p>排水(トイレ等) 不 可 ・ 一部使用不能 ・ 使用可能</p> <p>③ クリニック内機器損壊状況</p> <p>レントゲン 使用不能 ・ 使用可能</p> <p>サーバー 使用不能 ・ 使用可能</p> <p>パソコン 使用不能 ( 台) 使用可能 ( 台)</p> <p>ファックス 使用不能 ・ 使用可能</p> <p>コピー 使用不能 ( 台) 使用可能 ( 台)</p> <p>テレビ 使用不能 ・ 使用可能</p> <p>冷蔵庫 使用不能 ・ 使用可能</p> <p>&lt; 備 考 &gt;</p>		



# ライフライン・鉄道・バス 集約表

---

# ライフライン状況 集約表①

( 年 月 日 時 分現在)

## 水道情報

番号	発生場所	影響範囲	対応状況	その他
①				
②				
③				

## 電気情報

番号	発生場所	影響範囲	対応状況	その他
①				
②				
③				

## ガス情報

番号	発生場所	影響範囲	対応状況	その他
①				
②				
③				

# ライフライン状況 集約表②

( 年 月 日 時 分現在)

## 道路情報

番号	路線	規制	理由	規制箇所
①		片側交互 通行止 閉鎖	災害 工事	
②		片側交互 通行止 閉鎖	災害 工事	
③		片側交互 通行止 閉鎖	災害 工事	
④		片側交互 通行止 閉鎖	災害 工事	
⑤		片側交互 通行止 閉鎖	災害 工事	
⑥		片側交互 通行止 閉鎖	災害 工事	
⑦		片側交互 通行止 閉鎖	災害 工事	
⑧		片側交互 通行止 閉鎖	災害 工事	
⑨		片側交互 通行止 閉鎖	災害 工事	
⑩		片側交互 通行止 閉鎖	災害 工事	
⑪		片側交互 通行止 閉鎖	災害 工事	
⑫		片側交互 通行止 閉鎖	災害 工事	

# 鉄道運行状況 集約表①

( 年 月 日 時 分現在)

## J R 西日本

番号	路線	影響範囲	状況	振替輸送
①	線	駅 ~ 駅	遅れ 見合わせ 取り止め 不通	→ あり なし
②	線	駅 ~ 駅	遅れ 見合わせ 取り止め 不通	→ あり なし
③	線	駅 ~ 駅	遅れ 見合わせ 取り止め 不通	→ あり なし

## 阪急電鉄

番号	路線	影響範囲	状況	振替輸送
①	線	駅 ~ 駅	遅れ 見合わせ 取り止め 不通	→ あり なし
②	線	駅 ~ 駅	遅れ 見合わせ 取り止め 不通	→ あり なし
③	線	駅 ~ 駅	遅れ 見合わせ 取り止め 不通	→ あり なし

## 京都市地下鉄

番号	路線	影響範囲	状況	振替輸送
①	線	駅 ~ 駅	遅れ 見合わせ 取り止め 不通	→ あり なし
②	線	駅 ~ 駅	遅れ 見合わせ 取り止め 不通	→ あり なし
③	線	駅 ~ 駅	遅れ 見合わせ 取り止め 不通	→ あり なし

# 鉄道運行状況 集約表②

( 年 月 日 時 分現在)

## 近鉄電車

番号	路線	影響範囲	状況	振替輸送
①	線	駅 ~ 駅	遅れ 見合わせ 取り止め 不通	→ あり なし
②	線	駅 ~ 駅	遅れ 見合わせ 取り止め 不通	→ あり なし
③	線	駅 ~ 駅	遅れ 見合わせ 取り止め 不通	→ あり なし

## 京阪電車

番号	路線	影響範囲	状況	振替輸送
①	線	駅 ~ 駅	遅れ 見合わせ 取り止め 不通	→ あり なし
②	線	駅 ~ 駅	遅れ 見合わせ 取り止め 不通	→ あり なし
③	線	駅 ~ 駅	遅れ 見合わせ 取り止め 不通	→ あり なし

## 北近畿タンゴ鉄道

番号	路線	影響範囲	状況	振替輸送
①	線	駅 ~ 駅	遅れ 見合わせ 取り止め 不通	→ あり なし
②	線	駅 ~ 駅	遅れ 見合わせ 取り止め 不通	→ あり なし
③	線	駅 ~ 駅	遅れ 見合わせ 取り止め 不通	→ あり なし

# バス運行状況 集約表①

( 年 月 日 時 分現在)

## 京都市バス

番号	路線	区間	状況	その他
①	系統 線	～	遅れ 不通 ( )	
②	系統 線	～	遅れ 不通 ( )	
③	系統 線	～	遅れ 不通 ( )	

## 京都バス

番号	路線	区間	状況	その他
①	系統 線	～	遅れ 不通 ( )	
②	系統 線	～	遅れ 不通 ( )	
③	系統 線	～	遅れ 不通 ( )	

## 京阪バス

番号	路線	区間	状況	その他
①	系統 線	～	遅れ 不通 ( )	
②	系統 線	～	遅れ 不通 ( )	
③	系統 線	～	遅れ 不通 ( )	

# バス運行状況 集約表②

( 年 月 日 時 分現在)

## 京阪京都交通

番号	路線	区間	状況	その他
①	系統 線	～	遅れ 不通 ( )	
②	系統 線	～	遅れ 不通 ( )	
③	系統 線	～	遅れ 不通 ( )	

## 京都交通

番号	路線	区間	状況	その他
①	系統 線	～	遅れ 不通 ( )	
②	系統 線	～	遅れ 不通 ( )	
③	系統 線	～	遅れ 不通 ( )	

## ヤサカバス

番号	路線	区間	状況	その他
①	系統 線	～	遅れ 不通 ( )	
②	系統 線	～	遅れ 不通 ( )	
③	系統 線	～	遅れ 不通 ( )	

# バス運行状況 集約表③

( 年 月 日 時 分現在)

## 阪急バス

番号	路線	区間	状況	その他
①	系統 線	～	遅れ 不通 ( )	
②	系統 線	～	遅れ 不通 ( )	
③	系統 線	～	遅れ 不通 ( )	

## 京阪宇治バス

番号	路線	区間	状況	その他
①	系統 線	～	遅れ 不通 ( )	
②	系統 線	～	遅れ 不通 ( )	
③	系統 線	～	遅れ 不通 ( )	

## 丹後海陸交通

番号	路線	区間	状況	その他
①	系統 線	～	遅れ 不通 ( )	
②	系統 線	～	遅れ 不通 ( )	
③	系統 線	～	遅れ 不通 ( )	

# 被災後の処理

## 焼失したお札や金券類について

### お金

傷んだお金は、一般の金融機関でも新しいお金に引換えることができますが、傷みのひどいものについては、鑑定が難しいので、日本銀行の本店または支店にお持ちください。燃えてしまったり、細かく破れてしまったお札や、溶けてしまった貨幣でも、一定の条件を満たせば、引換えが可能ですので、日本銀行までご相談ください。また、傷んでいなくても、流通に不便なお金（例えば肖像画が聖徳太子の一万円券や記念貨など）もお持ち頂ければ、鑑定のうえ、引換えます。

### 損傷銀行券の引換え基準

日本銀行では、銀行券が破れたり、燃えたりした場合には、表・裏両面があることを条件に、下記の面積基準で新しい銀行券との引換えを行っています。

→ 灰になった銀行券は、その灰が銀行券であることが確認できれば面積に含みます。

◎ 面積が  $\frac{2}{3}$  以上の場合には全額として引換え。

1万円券の場合には1万円として、5千円券の場合には5千円として引換えます。

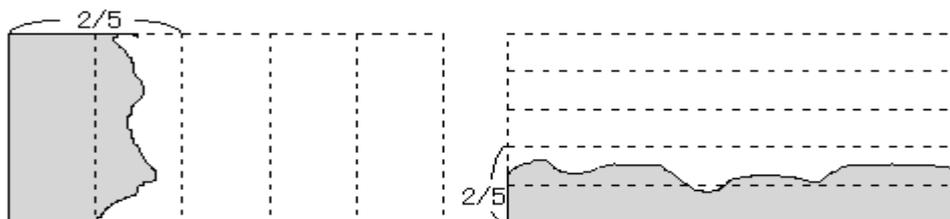


◎ 面積が  $\frac{2}{5}$  以上、 $\frac{3}{5}$  未満の場合には半額として引換え。

1万円券の場合、5千円として引換えます。



◎ 面積が  $\frac{2}{5}$  未満の場合には銀行券としての価値は無く失効。



※  … 銀行券残存面積

## 損傷貨幣の引換え基準

模様の認識ができる貨幣を対象とします。

具体的な引換え基準は以下のとおりです。ただし、災害その他やむを得ない事由により量目が減少した貨幣については、以下の基準にかかわらず、模様の認識ができることを条件に額面価格の全額をもって引換えます。

- ◎ 金貨 量目の98%以上のものについて、額面価格の全額をもって引換えます。
- ◎ 金貨以外の貨幣 量目の2分の1を超えるものについて、額面価格の全額をもって引換えます。

## 破砕のおそれのある現金の取扱等

焼損等により破砕のおそれのある現金は、箱に入れる等、できる限り原形を崩さぬように持ち込んでください。粉々な状態になると、失効と判断することがあります。

なお、このような現金を大量に持ち込むことを予定されている方は、事前にご連絡ください。

照会先 → 情報サービス局 03-3279-1111（内線 4636～4638）

## 保険証券

保管していた保険証券が焼失しても、加入している保険会社に連絡を取り保険金支払いを受けることが可能。

## 災害地域生保契約照会制度 生命保険協会が調査を行う

照会センターは、震災で生命保険の契約に関する手掛かりを失い、生命保険会社に死亡保険金請求を行うこと等が困難な方のために設置。照会センターにお知らせいただいた情報を生命保険協会加盟会社（47社）に連絡し、契約有無の調査を行う。

加入している生命保険会社が変わる場合は、各生命保険会社へ問い合わせをする。

- 照会センターを利用できる人の範囲  
原則、照会対象者（被災された方）の家族・遺族（配偶者、親、子、兄弟姉妹）
- 調査対象となる保険契約の範囲  
生命保険協会加盟会社（47社）の個人生命保険契約が調査対象

## 地震保険契約会社照会センター 日本損害保険協会

地震保険の証券を紛失されたなど、地震保険の契約会社が不明な場合の相談窓口

→ 契約された保険会社かわからない方・ご親族など

日本損害保険協会 地震保険契約会社照会センター フリーダイヤル 0120-501331

## 振込などの支払いができない場合

地震の後始末などに追われたり、突然の出費などで振り込みが期日までにできなくなった場合、減免措置等が講じられるのでそれぞれの会社に確認が必要となる。

○ 電気やガス、水道などの公共料金の支払いに関して

災害救助法が適用された地域について、公共料金の支払期限の延長や基本料金をゼロにするといった措置が検討されるので各社に確認のこと。

---